

『育児と仕事の両立』はいいかに!! 納得できる毎日のために

— やっぱり難しい? 制度利用の本音のところ —

開催日

平成
30年

12月7日(金)

13:30~16:00

場所

プラザおでって3階 おでってホール

参加対象

企業および施設の経営者・人事労務担当者、
一般労働者、行政関係者、その他、ワーク・
ライフ・バランスに興味のある方等どなたで
もご参加いただけます。

定員

100名(定員になり次第締め切ります)

申込方法

所定の参加申込書に必要事項をご記入の上、
FAXまたはメールでお申し込み下さい。
無料の託児をご希望の方は、その旨ご記入の
上、11/28までにお申込みください。

スケジュール

- 13:00 受付開始
- 13:30 開会(主催者挨拶)
- 13:35 第一部:講演(講師:坂無淳氏)
- 14:30 休憩
- 14:35 第二部:パネルディスカッション
- 15:35 行政説明
- 16:00 閉会

企業および
施設の経営者
の方も!!

参加無料

無料託児
利用可能

第一部

講演

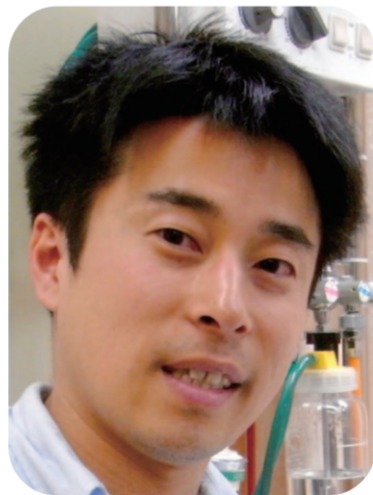
講師

坂無 淳氏(福岡県立大学人間社会学部講師)

演題

ワーク・ライフ・バランスを実現するためには
~ジェンダーの視点から考える~

社会学とジェンダー研究の立場から、
現在の日本の家族や労働を取り巻く状
況を取りあげます。今よりもジェンダー
平等が達成され、私たち一人ひとりが
生活と仕事を楽しむことのできる社会
とするためには、個人が、そして企業
や大学などの組織が、また行政や地域
社会には何ができるのか。また、行政
や地域社会には何ができるのか、話題提供を行います。



▶講師略歴

- 1980年 北海道旭川市生まれ
- 2003年3月 東京大学 文学部行動文化学科卒業
- 2009年9月 北海道大学 文学研究科
人間システム科学専攻単位取得退学
- 2009年8月 山形大学 男女共同参画推進室 助教
- 2013年4月 立教大学 コミュニティ福祉学部 助教
- 2017年4月 福岡県立大学 人間社会学部 講師

▶講師受賞歴

平成28年度男女共同参画・少子化関連研究活動の支援に関する顕彰
事業(公益社団法人 程ヶ谷基金)論文の部奨励賞、受賞論文「大学教員
の研究業績に対する性別の影響」(坂無淳, 2015『社会学評論』65(4):
592-610)

第二部

パネルディスカッション

『育児と仕事の両立』と一言でいっても、
そこには個人の事情・組織の事情が交差
します。そのハザマで『私』は何を考え、
どのように動いているのでしょうか。実
際に制度を利用・提供する立場にある人
たちの声から一緒に考えてみましょう。



パネリスト

民間企業管理職

民間企業育児休業取得者:葛 理 恵氏

(株式会社アート不動産 アパマンショップ盛岡本宮店)

大学管理職:堀 江 淳氏(岩手県立大学副学長)

大学育児中教員:菅 野 道 生氏

(岩手県立大学社会福祉学部准教授)

コメンテーター

坂無 淳氏(福岡県立大学人間社会学部講師)

コーディネーター

庄 司 知恵子氏(岩手県立大学社会福祉学部准教授)

お申込み・お問い合わせ先

(公財)いきいき岩手支援財団 盛岡市本町通三丁目19-1
岩手県福祉総合相談センター3階

TEL 019-626-0196 FAX 019-625-7494

E-mail wlb@silverz.or.jp

ホームページ <http://www.silverz.or.jp/osirase.html>